

上野ひでのり講師 第3回  
「先読みバランスチャートFX」の概観  
バランス状況確認、ダウ理論

ウィークリー、デイリー定点観測

- 土曜日 月足、週足、日足、4時間足、1時間足、15分足、5分足
- 毎日 日足、4時間足、1時間足、15分足、5分足
- 読み取れたことをコメントとして書き出す

定点観測のポイント

- ダウ
  - ボーダーラインとアラートラインの方向
  - トレンドは明確な転換シグナルが発生するまでは継続する
- ローソク足の位置
  - 直近の高値と安値の確認
  - 近くにどんなラインが走っているか？
  - 上下どちらにスペースが空いているか？
- 先読み短期(A)セット、中期(B)セット、長期(C)セットの位置、クロス関係はどうなっているか？
- 短期(A)サインと中期(B)サインのクロス関係の確認
- ⇒今回は、ボリンジャーバンドとRSIは無視して解説します。

EUR/USD 2012年10月19日  
終値:1.30194ベース

- 月足
  - 下げダウ
  - 短期(A)サインに頭を押さえられている 月が変わるとスペースが広がる
- 週足
  - 下げダウ
  - 短期(A)セットに頭を押さえられて5週間ほどレンジ相場が続いている
- 日足
  - 上げダウ
  - サポートがしっかりして、上にスペースが広がっている
- 4時間足
  - 上げダウ
  - アラートラインに辛うじてサポートを受けている。上にスペースが広がっている
- 1時間足
  - 下げダウ
  - ボーダーラインを下抜けして、中期(B)サインでもサポートされず、長期(C)サインでサポートされた
- 15分足
  - 下げダウ
  - 下にはスペースが広がっている。長期赤ラインが最後の砦で、ちょうど1.3の大台をサポートしている
- 5分足
  - 下げダウ
  - 下には何もサポートがなく、大きなスペースが広がっている

週明けのシナリオ

- 様子見
  - 大きな方向性ではロング 実際にロングポジションを持つためには、1時間足以下の状況改善が必須である
  - 1.3割れが示現すれば、ショートシナリオに切り替える

通貨ペア	時間軸	ダウ	記入日時	分析コメント	
EUR/USD	月足	下げ	12/10/20 6:00	2010年6月7日の安値1.18760を更新することなく、7月24日の年初来安値1.20411から反発局面である。短期サインのサポートを使うか横抜けすると、上昇方向にスペースが広がり、年初来高値の1.34853、アラートラインの1.34902近辺までの上昇は、年内に示現する可能性がある。一方、中期サインの1.2773を下抜けるようだと、再度1.20411の安値を試しにくい可能性もある。ただし、この近辺には長期サインのサポートが控えているので、年内に1.2割れの可能性は低いだろう。年内は、1.2から1.34後半までのレンジ相場を想定しておきたい。つまり年初来安値から高値までのあいだでどちらにも動く可能性があるが、現状では上のほうが伸びしろが大きいイメージである。今月中は短期サインがレジスタンスになっているため、上値が重く9月の高値を上抜けず、はらみ足になっている。	
	週足	下げ	12/10/20 6:00	2008年7月15日の史上最高値1.60370からの戻り高値である2009年12月2日の1.51440及び2011年5月4日の1.49393以降、ボダー・アラートは下げダウが継続している。短期・中期・長期サインの関係もショート方向へのパーフェクト・オーダーを形成している。しかし、月足で述べたように2年前の安値を切り上げて上昇中であることから、三角保ち合いの形に入りつつあるとも読める。過去5週間は、短期セットがレジスタンスとして集中する1.3157とボダーラインのサポート1.26617の500pips弱のスペースでのレンジ相場になっているが、7月24日の安値からの上昇の勢いをまだ維持していると考えられる。今週は、結局のところ、緩やかな右肩下がりの短期セットに頭を押さえられ、9月17日の高値1.31709に達せずという形で終わった。	
	日足	上げ	12/10/20 6:00	引き続き、9月17日の高値1.31709とぴったり重なる短中期サインと長期サインのゴールデンクロスの様相が間近に迫っている。来週半ばにはパーフェクトオーダーを形成する可能性がある。右肩下がりの長期サインのレジスタンスまではまだ余裕があり、1.31709ブレイク後のスペースも200pips以上あるが、月足、週足のレジスタンスに押さえられ上値が重い。RSIでは今週の高値は直近の高値とのあいだでダイバージェンスを発生させており、ここから短期間に一気の上昇は期待しにくい。ただ、ボリンジャーバンドは、まだトレンドゾーンに留まっており、レンジラインに支えられてバンドウォークで上昇という可能性は十分ある。	
	4時間足	上げ	12/10/20 6:00	ボダー・アラート、短中期サインの関係はロング方向へのパーフェクトオーダーを維持しているが、徐々に弱い形に変わりつつある。ローソク足の実体はボリンジャーバンドのトレンドゾーンを外れ、レンジゾーンに突入し、押し目探しの時間が続く。1.3を割らないレベルにアラートラインのサポートが見えており、今後の再上昇のためには、1.3死守が必須となろう。今週の終値は1.30194であり、辛うじてアラートラインにサポートされて引けている。	
	1時間足	下げ	12/10/20 6:00	昨日のロンドンタイム以降の押し目形成で、下げダウに転じている。ロンドンタイム序盤にボダーラインを割り込み押し目を探す時間となったが、週末の大引けは長期サインのレベルでしっかりサポートされている。短中期サインはデッドクロス、続いて短期ベルトと中期ベルトもデッドクロス間近ということで、目先は弱気相場が継続する見込み。1.3のサポートが決壊すると、ショート方向に大きな相場が期待できるが、サポートが鉄板で機能すると、週の序盤は上げ戻しの勢いも弱い狭いレンジ相場になってしまう可能性が高い。	
	15分足	下げ	12/10/20 6:00	ボダー・アラートも短中期サインもショート方向へのパーフェクトオーダーを形成している。ショート方向にはちょうど1.3レベルで待ち構える長期赤ラインしかサポートはなく、当然のこと、このラインを下抜けば、大きな値幅が期待できる相場になる。ボリンジャーバンドはトレンドゾーンに留まり下落トレンド継続中である。上昇方向にはレジスタンスがこれでもかと集中しており、1~2日の相場で上抜くのは困難であろう。1.3のレジスタンスが強力に機能してしまった場合、うまみのないレンジ相場を覚悟しなければならないだろう。	
	5分足	下げ	12/10/20 6:00	15分足と矛盾ない状態である。大引けにかけて1.3のサポートが機能しており、短中期サインはレンジ特有の横走り交錯状態である。	
	総評 仕掛けのチャンス			12/10/20 6:00	1.3という大台が意識される水準でなければ、週明けからすんなり下に抜けてしまいそうな状態にある。日足、4時間足は元気な状態を維持しているので、大きな方向性から言えばロング、短期的にはショートを考えたいところである。しかし、よほど大きく動意づかない限り、1.3のサポートは強力でありすんなり割れることはないだろう。ロング方向へトレードを考えた場合には、1時間足以下の強力なレジスタンスを抜ける時間を待たねばならない。加えて、月足、週足の強力なサポートが次に控えるので、今月いっぱい1.3~1.315程度の150pips以内の狭いレンジのトレードになってしまう可能性がある。週明けの東京タイムには、トレードチャンスはないだろう。